

【OIE 情報】 ロシアにおける口蹄疫（0 型）の発生について

平成 28 年 12 月 7 日
動物衛生課

ロシア ザバイカリエ地方における口蹄疫（0 型）の発生について、2016 年 12 月 6 日付けで OIE へ報告がありましたのでお知らせいたします。

【出典】：OIEウェブサイト（2016年12月6日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=21735

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（続報 1）
- ・発生日：2016 年 11 月 27 日
- ・OIE への報告日：2016 年 12 月 6 日
- ・血清型：0 型
- ・臨床徴候あり

【発生状況】

- ・発生場所：ザバイカリエ地方 プリアルグンスク地区

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	172	57	0	-	0
豚	150	0	0	0	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中

【対応】

- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種を実施

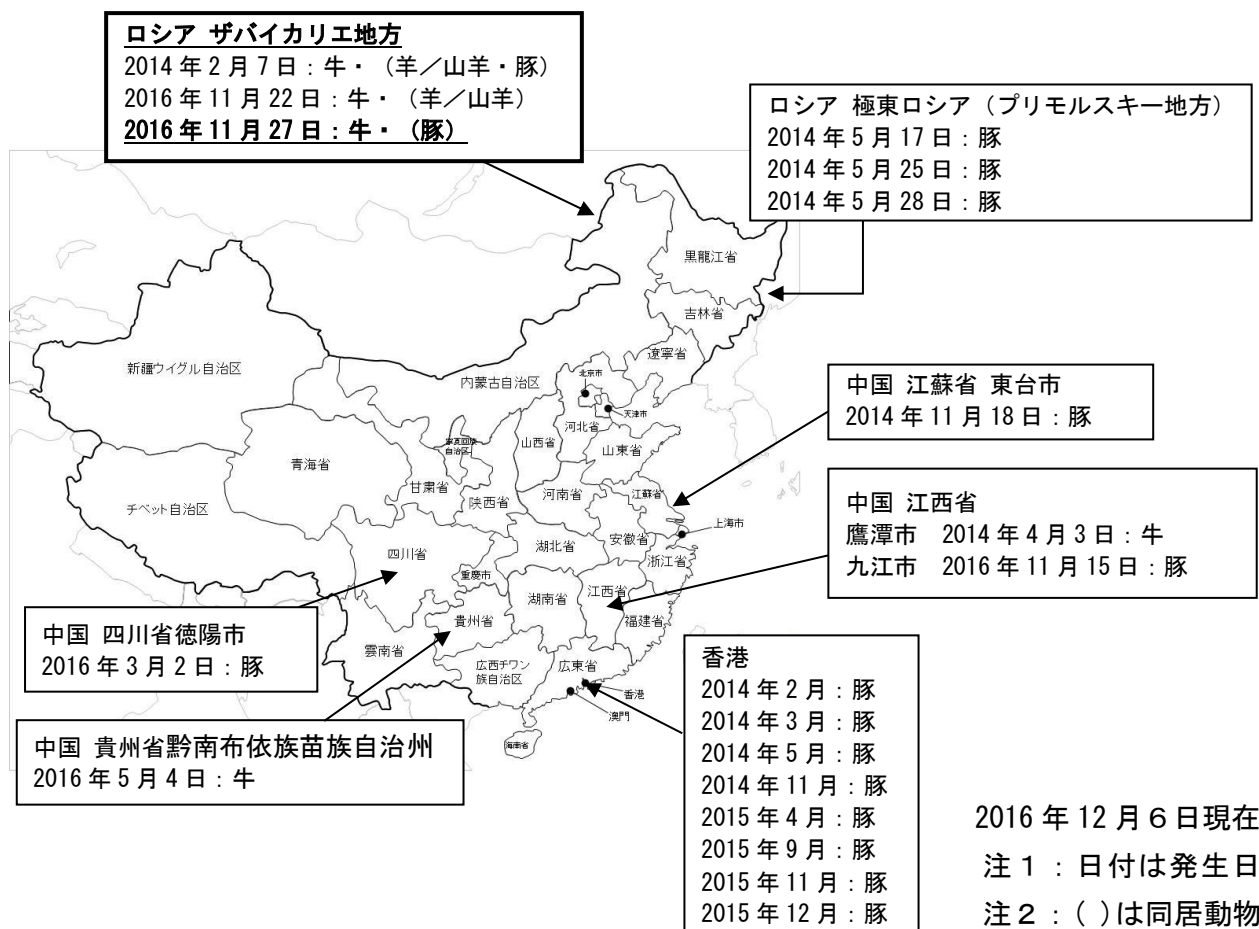
地方	動物種	接種頭数
ザバイカリエ地方	牛	2,376頭
	羊／山羊	2,231頭

- ・施設等の消毒実施
- ・隔離
- ・封じ込め及び/または保護区域の外側/内側におけるサーベイランス
- ・ゾーニング
- ・患畜を治療対象としない
- ・部分淘汰（予定）

【診断】

- ・診断施設：All-Russian Research Institute for Animal Health (FGBI-ARRIAH)
(OIE リファレンス研究所)
- ・診断法：抗原検出ELISA、補体結合反応（CF）、RT-PCR：陽性（2016年12月1日）

【参考情報】中国、ロシア（極東ロシア、ザバイカリエ地方）、香港における0型口蹄疫の発生状況（2014年1月～）



（参考1）中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

（参考2）ロシア（極東ロシア）での0型口蹄疫に関する情報

- ・ OIE 報告によると、ロシア プリモルスキー地方の口蹄疫発生場所は、それぞれ中国国境から30km及び45kmに位置し、プリモルスキー地方は口蹄疫ワクチン接種を行う緩衝地域に指定されている。
- ・ 国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、O及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している（ロシア連邦動植物検疫監督局ウェブサイト情報より）。

（参考3）香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

- ・ 全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとに0型口蹄疫ワクチン接種を実施。